

**メロン世界新興国ソブリン・ファンド(愛称:育ち盛り)  
～ムーディーズ社によるハンガリーの格下げについて～**

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

12月6日、格付け会社ムーディーズ・インベスターズ・サービス(Moody's)社はハンガリーの格付けを2段階引き下げ、自国通貨建て長期債の格付けを「Baa3」としました。また、併せて格付見通しを「ネガティブ」としており、更なる格下げの可能性も示唆しました。これにより、ハンガリーの格付けはスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社による同国格付け「BBB-」と並び、投資適格の最低位となりました。

**【格下げの背景等について】**

ムーディーズ社による今回の格下げの背景として、ハンガリーでは財政の持続可能性に対する懸念が高まっていることと、外部要因に対する脆弱性が指摘されております。11月下旬、ハンガリーのオルバン首相は、財政赤字を抑制するため一部の産業に対する特別税導入のほか、年金制度改革を発表しました。しかし、政府の打ち出した改善策は、一時的な措置に依存しており、中長期的な観点から財政再建に対する効果は疑問視されておりました。今回の格下げは市場でほぼ織り込まれており、6日の外国為替市場では、ハンガリー・フォリントは対円で前日比約2.0%下落いたしましたでしたが、7日には同約1.5%上昇しております。

**<主要格付け会社によるハンガリーの格付け(2010年12月6日時点)>**

	Moody's	S&P	Fitch
外貨建て長期債	Baa3	BBB-	BBB
自国通貨建て長期債	Baa3	BBB-	BBB+

(出所)ブルムバーグ

**【今後の運用方針について】**

ハンガリーの公的債務の対GDP比は78%と高い水準に止まっており、他の欧州周辺諸国同様に多額の対外債務を抱えていることから、外部要因に対する脆弱性を抱えております。しかし、ハンガリーの経済状況は、他の欧州周辺諸国と比較すれば、相対的に良好であるため、ハンガリーの財政状況が今後緩やかに改善していく展開を基本シナリオとして予想しております。ただし、直近で打ち出された財政再建策は一時的な措置に依存しており、不十分なものであることから、政策に対するリスクがあるものと考えられます。

ハンガリー債券については、実質金利が比較的高い水準にあり、投資妙味があることからベンチマーク並みの組入れを行なって参ります。

為替(ハンガリー・フォリント)については、経済見通しが不安定なことから引き続きベンチマーク比低めの組入れを行って参ります。

(ご参考)

2010年10月末時点におけるマザーファンドの組入れ比率

ハンガリー債券:10.0%、ハンガリー・フォリント:9.3%

(2010年10月末時点におけるベンチマーク\*のハンガリー組入比率:債券・通貨ともに10.0%)

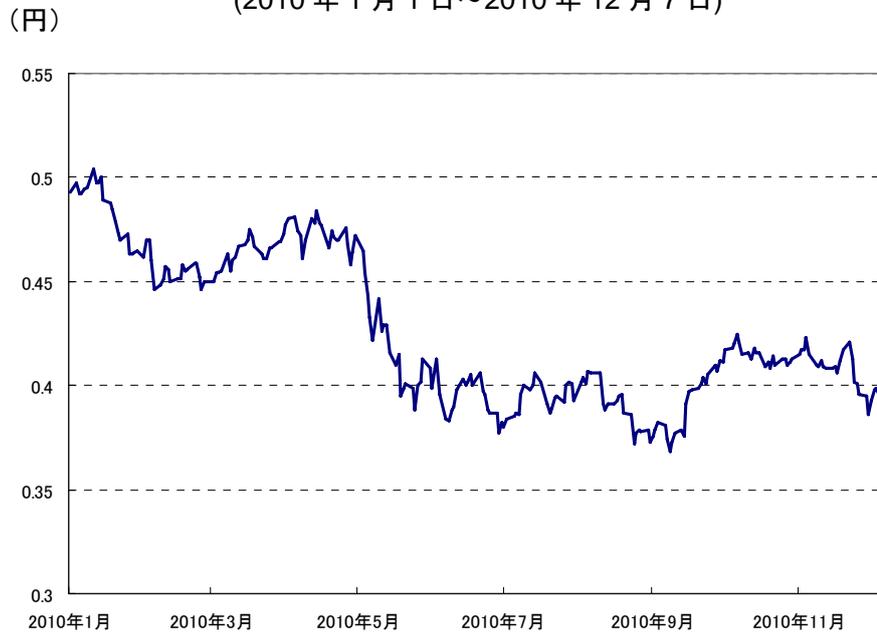
※ベンチマークはJPモルガンGBI-EM Diversified指数(ヘッジなし、円ベース)です。

以上

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。  
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

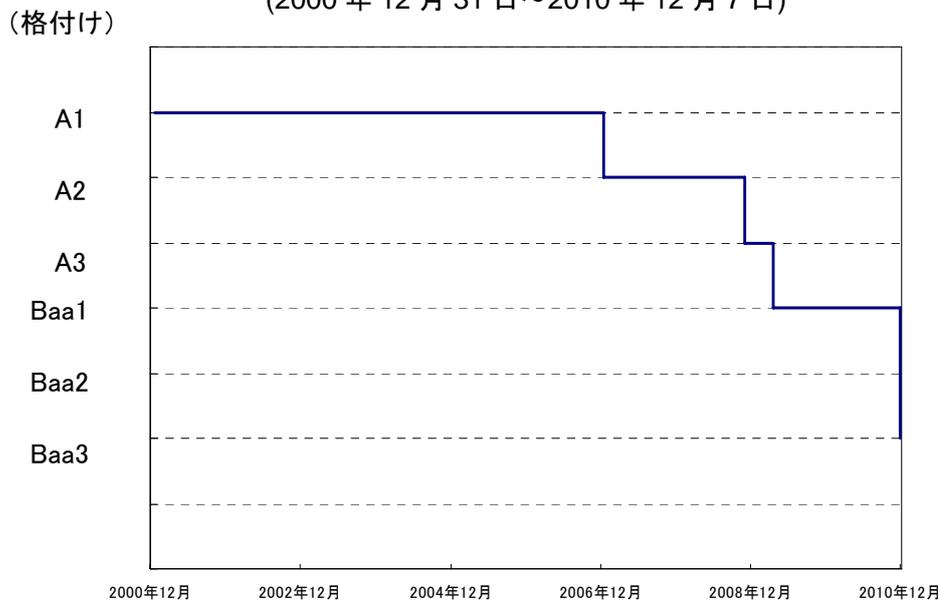
【ご参考】

ハンガリー・フォロントの推移(対円)  
(2010年1月1日~2010年12月7日)



出所:ブルムバーグ

ハンガリー自国通貨建て長期債格付けの推移(Moody's 社)  
(2000年12月31日~2010年12月7日)



出所:ブルムバーグ

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。  
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の債券への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もあります。)により当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

したがって、当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。

- 当ファンドの基準価額変動要因としては、主に「価額変動リスク」、「新興国への投資に伴うリスク」や「為替変動リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

### <お客様にご負担いただく費用>

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 直接ご負担いただく費用

○お申込手数料:

3.675%(税抜 3.5%)を上限として、販売会社が定める申込手数料率を買付申込日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。

○ご換金手数料:ありません。

○信託財産留保額:ありません。

- 間接的にご負担いただく費用

○信託報酬

当ファンドの純資産総額に年 1.7325%(税抜 1.65%)の率を乗じて得た額とします。

○その他の費用

上記のほか、監査費用および信託事務諸費用、当ファンドの組入れ有価証券等の売買に係る売買委託手数料等が、信託財産より支払われますが、これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記費用の総額につきましては、投資家の皆様の保有される期間等により異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。

- 設定・運用は

### BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第 406 号

[加入協会]社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会